

1日目：6月24日(金) プログラム

A 会場 (2F 多目的ホール)

9:50~10:00 開会式

10:00~11:30 シンポジウム【部位別解説—手術療法のコツとピットフォール】

抄録 P. 71

オーガナイザー：金子 高英 (順天堂大学浦安病院 皮膚科)
前川 武雄 (自治医科大学 皮膚科)

SY-1 外陰部・肛門の悪性腫瘍手術について

須山孝雪 (すやま たかゆき)、横山恵美、西村季紘、山田達也、片桐一元
獨協医科大学埼玉医療センター 皮膚科

SY-2 頭部の皮膚悪性腫瘍手術

浅越健治 (あさごえ けんじ)
岡山医療センター 皮膚科

SY-3 手足の皮膚悪性腫瘍に対する手術加療

杉村友紀 (すぎむら ゆき)、岡崎孝朱、長谷川梨穂、鈴木伸也、山田萌絵、太田悠介、
松下友樹、中川雅裕
浜松医科大学 形成外科

11:40~12:10 石原・池田賞表彰式・発表

12:20~13:20 ランチョンセミナー 1

【BRAF 遺伝子変異を有するメラノーマ—BRAF/MEK 阻害剤の使い方と患者への伝え方—】

抄録 P. 83

座長：藤澤 康弘 (愛媛大学 皮膚科)

LS1-1 BRAF 変異陽性悪性黒色腫に対する集学的治療—BRAF/MEK 阻害薬使用最適化への試み—

藤村 卓 (ふじむら たく)
東北大学 皮膚科

LS1-2 BRAF 陽性メラノーマ患者とのコミュニケーション：治療選択や副作用マネジメントの場面で

大塚篤司 (おおつか あつし)
近畿大学 皮膚科

共催：ノバルティス ファーマ株式会社

13:30~15:30 スポンサーシップシンポジウム【メラノーマ薬物治療の全体像と対応】

抄録 P. 77

座長：爲政 大幾 (大阪国際がんセンター 腫瘍皮膚科)
山崎 直也 (国立がん研究センター中央病院 皮膚腫瘍科)

SSY-1 メラノーマ薬物治療の最新エビデンス—どう読み取る？—

竹之内辰也 (たけのうち たつや)
新潟県立がんセンター新潟病院 皮膚科

SSY-2 メラノーマ薬物療法のリアルワールドからの考察

高橋 聡 (たかはし あきら)
国立がん研究センター東病院 皮膚腫瘍科

SSY-3 irAE をどう恐れ、どう備えるか？

峯村信嘉 (みねむら のぶよし)
三井記念病院 総合内科

共催：ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社/小野薬品工業株式会社

16:00~17:00 特別講演 1

抄録 P. 57

座長：澤村 大輔 (弘前大学 皮膚科)

SL1 本邦初・悪性リンパ腫疑い症例のための統合診断システム/READsystem：誕生～現在～近未来構想

一迫 玲 (いちのはさま りょう)
東北大学病院 造血器病理学

17:10~18:10 教育講演 3【皮膚悪性腫瘍におけるゲノム医療】

抄録 P. 64

座長：山崎 直也 (国立がん研究センター中央病院 皮膚腫瘍科)
奥山 隆平 (信州大学 皮膚科)

EL3-1 遺伝子パネル検査の基礎知識

角南久仁子 (すなみ くにこ)
国立がん研究センター中央病院 臨床検査科

EL3-2

皮膚科領域における癌ゲノムパネル検査の可能性

藤村 卓 (ふじむら たく)

東北大学 皮膚科

6月24日(金)

10:00~10:50 一般演題 1 【メラノーマ (1)】

抄録 P. 107

座長：内 博史 (九州がんセンター 皮膚科)
 福島 聡 (熊本大学 皮膚科)

B-1-1* 免疫チェックポイント阻害剤 (ICI) 加療後にダカルバジン (DTIC) が奏効したメラノーマの 1 例

岩下宣彦¹ (いわした のぶひこ)、石黒暁寛¹、山本泰熙¹、渡辺大輔¹、竹尾友宏²
¹愛知医科大学 皮膚科、²竹尾皮ふ科

B-1-2 免疫チェックポイント阻害薬に続いてダカルバジンを投与し腫瘍縮小効果を認めた悪性黒色腫の 2 例

石川秀幸¹ (いしかわ ひでゆき)、水野雄斗¹、大屋貴志²、山口由衣¹
¹横浜市立大学 皮膚科、²横浜市立大学 歯科口腔外科

B-1-3 Nivolumab、Ipilimumab 併用療法からダカルバジンが奏効した進行期悪性黒色腫

杉野仁美 (すぎの ひとみ)、佐々木奈津子、岡田悦子
 産業医科大学 皮膚科

B-1-4 ニボルマブ・イピリムマブ併用療法にて末梢神経障害等種々の irAE を認めるも奏功した左踵悪性黒色腫の 1 例

横見明典 (よこみ あきのり)、玉井昌和、坂本理佳、後藤範子
 市立豊中病院 皮膚科

B-1-5 肺部分切除後のイピリムマブ・ニボルマブ併用療法が著効した多臓器転移性悪性黒色腫

木戸一成 (きど いっせい)、森坂広行、佐野ほづみ、中島英貴、佐野栄紀
 高知大学 皮膚科

B-1-6 免疫チェックポイント阻害薬で PD 判定も放射線治療を追加して薬物療法を継続したメラノーマの 2 例

大塚正樹¹ (おおつか まさき)、森本広樹¹、小倉康晶¹、一戸建志²、戸倉新樹¹
¹中東遠総合医療センター 皮膚科・皮膚腫瘍科、²中東遠総合医療センター 腫瘍放射線科

座長：古賀 弘志 (信州大学 皮膚科)
伊東 孝通 (九州大学 皮膚科)

B-2-1 脳転移の出現後も長期生存が得られている悪性黒色腫の 2 例

大石京介 (おおいし きょうすけ)、伏田奈津美、池田智行、清水恭子、前田進太郎、
濱口儒人、松下貴史
金沢大学 皮膚科

B-2-2 メチオニン PET/CT でサイバーナイフ後の脳壊死と悪性黒色腫の脳転移を鑑別した 1 例

立花宏太¹ (たちばな こうた)、徳田真優¹、杉原 悟¹、三宅智子¹、山崎 修^{1,2}、
津野和幸³、蓮井光一⁴、畠山哲宗⁵、森実 真¹
¹岡山大学 皮膚科、²島根大学 皮膚科、³岡山旭東病院 脳神経外科、
⁴岡村一心堂病院 脳神経外科、⁵香川大学 脳神経外科

B-2-3 悪性黒色腫脳転移 (MBM : melanoma brain metastasis) 症例の予後に
関する検討

江藤博文^{1,3} (えとう ひろふみ)、緒方 大¹、並川健二郎¹、高橋 聡¹、柏原大朗²、
大熊加恵²、井垣 浩²、山崎直也¹
¹国立がん研究センター中央病院 皮膚腫瘍科、²国立がん研究センター中央病院 病理診断科、
³宮崎大学 皮膚科

B-2-4 メラノーマの治療における血清 5-S-cysteinyldopa 値を用いた有用性のモニタリング

面高俊和¹ (おもだか としかず)、皆川 茜¹、奥山隆平¹、若松一雅²
¹信州大学 皮膚科、²藤田医科大学メラニン化学研究所

B-2-5 抗 PD-1 抗体薬で鼻腔・口腔粘膜に radiation recall 現象を来たした、重粒子
治療後の副鼻腔悪性黒色腫の 1 例

脇 裕磨 (わき ゆうま)、延山嘉真、朝比奈昭彦
東京慈恵会医科大学

12:20~13:20 ランチョンセミナー 2

【進行期 BRAF 陽性メラノーマの治療を再考する—エビデンスを踏まえた治療戦略の実践—】

抄録 P. 85

座長：松下 茂人 (鹿児島医療センター 皮膚腫瘍科・皮膚科)
内 博史 (九州がんセンター 皮膚腫瘍科)

LS2-1 進行期 BRAF 陽性メラノーマの治療に挑む！—エビデンスが示す治療戦略—

前川武雄 (まえかわ たけお)
自治医科大学 皮膚科

LS2-2 **BRAF 陽性メラノーマの分子標的治療～蓄積された使用経験から再考する～**
吉川周佐 (よしかわ しゅうすけ)
静岡県立静岡がんセンター 皮膚科

共催：小野薬品工業株式会社

13:30～14:30 教育講演 1 【ウイルスによる皮膚発癌】 抄録 P. 61

座長：渡辺 大輔 (愛知医科大学 皮膚科)
中野 創 (弘前大学 皮膚科)

EL1-1 **メルケル細胞ポリオーマウイルス**
永瀬浩太郎 (ながせ こうたろう)
佐賀大学 皮膚科

EL1-2 **HPV による皮膚悪性腫瘍～疣贅状表皮発育異常症とボーエン病を中心に**
清水 晶 (しみず あきら)
金沢医科大学 皮膚科

14:40～15:40 教育講演 2 抄録 P. 63

座長：清原 隆宏 (関西医科大学総合医療センター 皮膚科)

EL2 **皮膚付属器悪性腫瘍の病理**
安齋眞一^{1,2} (あんざい しんいち)
¹PCL Japan 飯田橋 病理・細胞診センター、²日本医科大学 皮膚科

17:10～18:00 一般演題 9 【メラノーマ (3)】 抄録 P. 123

座長：中村 泰大 (埼玉医科大学国際医療センター 包括的がんセンター皮膚腫瘍科・皮膚科)
高橋 聡 (国立がん研究センター中央病院 皮膚腫瘍科)

B-3-1 **悪性黒色腫の終末期における薬物療法—新薬導入前後での比較検討—**
要藤歩美^{1,2} (ようとう あゆみ)、島田 奏^{1,3}、高塚純子¹、竹之内辰也¹
¹新潟県立がんセンター新潟病院 皮膚科、²富山大学 皮膚科、³新潟大学 皮膚科

B-3-2 **根治切除不能な悪性黒色腫患者を対象としたニボルマブ+イピリムマブ併用療法の特定制成績調査の最終報告**
清原祥夫¹ (きよはら よしお)、宇原 久²、土田哲也³、吉田 愛⁴、山田貴子⁴、
香本晃良⁴、山崎直也⁵
¹静岡県立静岡がんセンター 皮膚科、²札幌医科大学 皮膚科、³埼玉医科大学 皮膚科、
⁴ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社、⁵国立がん研究センター中央病院 皮膚腫瘍科

B-3-3 BRAF 変異根治切除不能な悪性黒色腫へのエンコラフェニブ+ビニメチニブ併用療法の特定使用成績調査中間解析

宇原 久¹ (うはら ひさし)、飯田 修²、大畑月香²、山崎直也³

¹札幌医科大学 皮膚科、²小野薬品工業株式会社、

³国立がん研究センター中央病院 皮膚腫瘍科

B-3-4 Stage III 悪性黒色腫に対するペムブロリズマブ術後補助療法の第3相試験の日本人集団解析：3.5年追跡

横田憲二¹ (よこた けんじ)、山崎直也²、清原祥夫³、猪爪隆史⁴、福島 聡⁵、

竹之内辰也⁶、関 康博⁷、Dmitri Grebennik⁸、Michal Kicinski⁹、

Alexander Eggermont¹⁰

¹名古屋大学 皮膚科、²国立がん研究センター中央病院 皮膚腫瘍科、

³静岡がんセンター支持療法センター 皮膚科、⁴千葉大学 皮膚科、⁵熊本大学 皮膚科、

⁶新潟県立がんセンター新潟病院 皮膚科、⁷MSD株式会社、

⁸Merck & Co., Inc., Kenilworth, NJ, USA、

⁹European Organisation for Research and Treatment of Cancer Headquarters、

¹⁰Princess Máxima Center and University Medical Center Utrecht

B-3-5 進行期メラノーマに対するファーストラインでのニボルマブ・イピリムマブ併用療法の効果について：第2報

藤澤康弘¹ (ふじさわ やすひろ)、宮川卓也³、松谷泰祐⁴、福島 聡⁵、加藤潤史⁶、

竹之内辰也⁷、内 博史⁸、増澤真実子⁹、浅井 純¹⁰、帆足俊彦²

¹愛媛大学 皮膚科、²日本医科大学 皮膚科、³東京大学 皮膚科、⁴旭川医科大学 皮膚科、

⁵熊本大学 皮膚科・形成再建科、⁶札幌医科大学 皮膚科、⁷新潟県立がんセンター 皮膚科、

⁸九州がんセンター 皮膚腫瘍科、⁹北里大学 皮膚科、¹⁰京都府立医科大学 皮膚科

10:00~10:50 一般演題3【SCC(1)】

抄録 P.111

座長：並木 剛 (東京医科歯科大学 皮膚科)
 国定 充 (神戸大学 皮膚科)

C-1-1 Tumor Mutation Burden High の右耳介有棘細胞癌多発転移に対しニボルマブを投与し部分奏功を得た 1 例

岩澤億斗 (いわさわ おくと)、尾松 淳、宮川卓也、都築美輝、中谷真理子、高岡真梨子、淡路健太郎、永井幸司郎、三宅知美、佐藤伸一
 東京大学

C-1-2 巨大な汗孔角化症に生じた有棘細胞癌の 1 例

山筋好子^{1,2} (やますじ よしこ)、宮内一成¹、馬場直子¹、指宿敦子¹、多田浩一¹、藤井一恭¹、東 裕子¹、橋口貴樹²、金蔵拓郎¹
¹鹿児島大学 皮膚科、²南九州市

C-1-3* 頸静脈孔症候群を来した、臨床的神経周囲浸潤を伴った再発性頭部皮膚有棘細胞癌の一例

千田晃嘉 (せんだ あきよし)、加来 洋、米倉 慧、小森崇矢、梶島健治
 京都大学 皮膚科

C-1-4 患側膝窩・鼠径リンパ節の IgG4 関連リンパ節症を併発した右下腿巨大有棘細胞癌の 1 例

福井伶奈¹ (ふくい れいな)、梅本尚可¹、倉田まりな²、山本直人²、田中 亨³、大城 久³、出光俊郎¹
¹自治医科大学さいたま医療センター 皮膚科、
²自治医科大学さいたま医療センター 形成外科、
³自治医科大学さいたま医療センター 病理診断科

C-1-5 演題取り下げ

C-1-6 ポリコナゾール被投与日光角化症患者の有棘細胞癌発生リスク

延山嘉真 (のべやま よしまさ)、脇 裕磨、梅澤慶紀、朝比奈昭彦
 東京慈恵会医科大学

座長：長野 徹 (神戸市立医療センター中央市民病院 皮膚科)
加藤 裕史 (名古屋市立大学 皮膚科)

C-2-1 急速に増大し、ドセタキセルと放射線療法が奏効した上口唇 infundibulocystic squamous cell carcinoma の 1 例

長谷川巧¹ (はせがわ たくみ)、飯野志郎¹、関根史織¹、北風光平¹、馬場夏希¹、尾山徳孝¹、樋口翔平²、今村好章²、長谷川稔¹
¹福井大学 皮膚科、²福井大学 病理診断科病理部

C-2-2* セツキシマブ単独療法で腫瘍増大が緩徐になった遠隔転移を有する PTHrP・G-CSF 産生の左殿部有棘細胞癌の 1 例

小松恒太郎 (こまつ こうたろう)、堀川知久、下地志月、林健太郎、高橋健造
琉球大学 皮膚科

C-2-3 左踵部に生じた PTHrP および G-CSF 産生有棘細胞癌の 1 例

角南志保 (すなみ しほ)、阪口有里、高瀬早和子、西村陽一、太田深雪、藤田真文、八木洋輔
大阪赤十字病院

C-2-4 Trousseau 症候群を発症した背部巨大有棘細胞癌の 1 例

櫻井恵海¹ (さくらい えみ)、田中隆光¹、江川昌太¹、深谷早希¹、林耕太郎¹、石川武子¹、鎌田昌洋¹、齊藤光次²、笹島ゆう子²、多田弥生¹
¹帝京大学、²同病理学科

C-2-5 色素沈着・脱失が混在する陰股部に 2 ヶ所発生した有棘細胞癌の 1 例

勝又文徳 (かつまた ふみのり)、前川武雄、岩澤億斗、外山雄一、岡田寛文、神谷浩二、佐藤篤子、小宮根真弓、大槻マミ太郎
自治医科大学

C-2-6 爪甲に発生した有棘細胞癌 11 例のまとめ

堀本浩平 (ほりもと こうへい)、佐藤さゆり、加藤潤史、宇原 久
札幌医科大学 皮膚科

座長：森田 明理 (名古屋市立大学 皮膚科)

LS3 CTCL の最新の病態とデニロイキンジフチトクス

菅谷 誠 (すがや まこと)
国際医療福祉大学 皮膚科

共催：エーザイ株式会社

座長：金子 高英 (順天堂大学浦安病院 皮膚科)

安田 正人 (群馬大学 皮膚科学)

C-3-1 超高齢者に対し BRAF 阻害薬+MEK 阻害薬併用療法を行った 2 例三浦慎平 (みうら しんぺい)、渡辺彩乃、井上 剛、天野博雄
岩手医科大学 皮膚科**C-3-2** BRAF/MEK 阻害薬が内服困難となり簡易懸濁法による投与を試みた原発不明悪性黒色腫の 1 例長野 徹¹ (ながの とおる)、塩入桃子¹、那須 愛¹、望月亮佐¹、田井志正¹、
小倉香奈子¹、小坂博志²¹神戸市立医療センター中央市民病院 皮膚科、²三田市民病院 皮膚科**C-3-3** BRAF/MEK 阻害薬の再投与が奏功した転移性悪性黒色腫の 1 例福島英彦 (ふくしま ひでひこ)、岩田洋平、杉浦一充
藤田医科大学 皮膚科**C-3-4** ダブラフェニブ/トラメチニブの経管投与を施行した眼瞼結膜悪性黒色腫の 1 例早川数馬 (はやかわ かずま)、前賢一郎、脇本紘子、入澤亮吉、原田和俊
東京医科大学 皮膚科**C-3-5** BRAF/MEK 阻害薬の変更により薬剤性間質性肺炎を制御した転移性悪性黒色腫佐々木直起 (ささき なおき)、佐々木奈津子、岡田悦子
産業医科大学**C-3-6*** 2 種類の BRAF/ MEK 阻害剤併用療法でぶどう膜炎を起こしたメラノーマの 1 例小原千明¹ (おばる ちあき)、木村俊寛¹、山村 愛¹、栗山春香¹、柏田香代¹、松村智世²、
渡邊隆弘²、福島 聡¹¹熊本大学 皮膚病態治療再建学講座、²熊本大学 眼科

座長：山崎 修 (島根大学 皮膚科)

藤村 卓 (東北大学 皮膚科)

C-4-1 抗 PD-1 抗体/抗 CTLA-4 抗体併用療法で治療した悪性黒色腫患者における早期奏効判定の意義の検証前田拓哉¹ (まえだ たくや)、上原治朗¹、北野滋久²、吉野公二¹¹がん研究会有明病院 皮膚腫瘍科、²がん研究会有明病院 先端医療開発センター

C-4-2 左側腹部原発悪性黒色腫多発転移に免疫チェックポイント阻害薬投与で長期PRを維持している透析患者の1例

川野貴大 (かわの たかひろ)、中岡啓喜、浅野遥奈、泉本真美子、眞田紗代子、松本麻由、戸澤麻美、森 秀樹
愛媛大学 形成外科

C-4-3* 確定診断に苦慮した左足底部悪性黒色腫の一例

瀧脇道弘¹ (たきわき みちひろ)、山本有紀¹、宮崎 健¹、岩橋吉史²、村田晋一²、神人正寿¹

¹和歌山県立医科大学 皮膚科、²和歌山県立医科大学 病理診断学講座

C-4-4 2度の妊娠を契機に増大した爪部悪性黒色腫の1例

中西真理¹ (なかにし まり)、北川敬之¹、小林鮎子¹、中井康雄¹、波部幸司¹、眞川祥一²、眞木晋太郎²、二井理文²、池田智明²、山中恵一¹

¹三重大学 皮膚科、²三重大学 産婦人科

C-4-5* がん遺伝子パネル検査で新規 RAF1 融合遺伝子 SOX6-RAF1 が検出された BRAF 野生型悪性黒色腫の1例

川原 祐¹ (かわはら ゆう)、山口文太郎¹、上村杏奈¹、梅田善康¹、寺本由紀子¹、中村泰大¹、平崎正孝²、藤野 節²

¹埼玉医科大学国際医療センター 皮膚腫瘍科、

²埼玉医科大学国際医療センター がんゲノム医療科

C-4-6 BRAF-ZKSCAN5 融合遺伝子を検出し、Dabrafenib/Trametinib を投与した悪性黒色腫の1例

加藤裕史 (かとう ひろし)、安井由希子、加納慎二、中村元樹、森田明理
名古屋市立大学 皮膚科

17:10~17:55 一般演題 12 【メラノーマ (6)】

抄録 P. 129

座長：木庭 幸子 (信州大学 皮膚科)

緒方 大 (国立がん研究センター中央病院 皮膚腫瘍科)

C-5-1 イピリムマブ・ニボルマブ併用療法の irAE として発症した外眼筋炎の一例

岸 龍馬¹ (きし りょうま)、金子高英¹、高森建二¹、松澤 萌²、海老原伸行²、須賀 康¹

¹順天堂大学浦安病院 皮膚科、²順天堂大学浦安病院 眼科

C-5-2 ニボルマブとイピリムマブ併用療法中の悪性黒色腫患者に生じた汎発性円形脱毛症の1例

福地健祐 (ふくち けんすけ)、山崎圭介、北内裕里恵、影山玲子、栗原和生、藤山俊晴、島内隆寿、伊藤泰介、本田哲也

浜松医科大学 皮膚科

C-5-3 当院における進行期悪性黒色腫の高齢患者に対する抗 PD-1 抗体薬の効果と安全性の検討

名嘉眞健太 (なかま けんた)、武藤一考、土居礼一、嘉多山絵理、名嘉眞武國
久留米大学 皮膚科

C-5-4* 悪性黒色腫の術後補助療法後に irAE 腸炎を生じた 1 例

吉田薫子¹ (よしだ かおるこ)、加藤雪彦¹、梅舟莉加¹、梅林芳弘¹、中村洋典²
¹東京医科大学八王子医療センター 皮膚科、²東京医科大学八王子医療センター 消化器内科

C-5-5* ニボルマブ・イピリムマブ併用療法後に胃炎を発症した悪性黒色腫の 1 例

鈴木真莉子¹ (すずき まりこ)、福満祥子¹、中野英司¹、原田宜幸²、山田恭孝²、
徳永貴史²、酒井 新²、梁川禎孝³、久保亮治¹
¹神戸大学 皮膚科、²神戸大学 消化器内科、³神戸大学 呼吸器内科

D 会場 (4F 第 2+3 研修室)

10:00~10:50 一般演題 5 【附属器腫瘍 (1)】

抄録 P. 115

座長：安齋 真一 ((株) ピーシーエルジャパン PCL 飯田橋 病理・細胞診センター)
原田 和俊 (東京医科大学 皮膚科)

D-1-1* 基底細胞癌および低悪性度皮膚神経カルチノイドと鑑別を要した毛芽腫の一例
檜垣ひろみ¹ (ひがき ひろみ)、戸澤麻美²、川野貴大²、浅野遥奈²、泉本真美子²、
眞田紗代子²、松本麻由²、森 秀樹²、中岡啓喜²
¹南松山病院、²愛媛大学 形成外科

D-1-2* 治療に難渋したエクリン汗孔癌の一例
福山茉莉花 (ふくやま まりか)、松谷泰祐、松本 洸、小林友紀、野崎尋意、
菅原基史、菅野恭子、岸部麻里、山本明美
旭川医科大学 皮膚科

D-1-3* 38 年後に再燃した Digital Papillary Adenocarcinoma の 1 例
野田佑奈¹ (のだ ゆうな)、山本有紀¹、下松達哉³、岩橋吉史²、村田晋一²、神人正寿¹
¹和歌山県立医科大学 皮膚科、²和歌山県立医科大学 病理診断科、
³和歌山ろうさい病院 皮膚科

D-1-4 CRTC1/MAML2 融合遺伝子が検出された汗腺癌の 1 例
澤 杏樹¹ (さわ あんじゅ)、中江 真¹、大下彰史¹、小森敏史¹、浅井 純¹、加藤則人¹、
新井啓仁²、光田順一²、須藤 保³、高井利浩⁴
¹京都府立医科大学 皮膚科、²京都府立医科大学 耳鼻科、
³兵庫県立がんセンター 研究部・婦人科 ゲノム医療・臨床試験センター、
⁴兵庫県立がんセンター 皮膚科

D-1-5 当院における眼瞼脂腺癌 5 例の臨床的検討
平野 唯¹ (ひらの ゆい)、青木恵美¹、山村健太郎¹、小森崇矢²、日高太陽¹、
西原克彦¹、松下茂人¹
¹鹿児島医療センター 皮膚腫瘍科・皮膚科、²近畿大学 皮膚科

D-1-6 Endocrine mucin-producing sweat gland carcinoma の 2 例
力武里菜 (りきたけ さとな)、加藤 威、小林佳道、前田泰広、加太美保、中西健史、
藤本徳毅
滋賀医科大学 皮膚科

座長：梅林 芳弘 (東京医科大学八王子医療センター 皮膚科)
高井 利浩 (兵庫県立がんセンター 皮膚科)

D-2-1* 右眼瞼、左前額部、両側口腔内に発生した、多発微小嚢胞性付属器癌の一例
角総一郎¹ (かど そういちろう)、前川武雄¹、神谷浩二¹、小宮根真弓¹、大槻マミ太郎¹、
山本亜紀²、森 良之²、三浦珠希³、仁木利郎³、藤井裕之⁴

¹自治医科大学 皮膚科、²自治医科大学 歯科口腔外科、³自治医科大学 病理診断部、
⁴自治医科大学 放射線科

D-2-2* 頭部脂腺癌の 2 例

青山和弘¹ (あおやま かずひろ)、金城晶彦¹、深田義仁¹、山崎一人²、佐藤友隆¹

¹帝京大学ちば総合医療センター、²帝京大学ちば総合医療センター 病院病理科

D-2-3 アポクリン腺癌 33 例の臨床的検討

鶴田成二 (つるた せいじ)、緒方 大、並川健二郎、高橋 聡、山崎直也

国立がん研究センター中央病院 皮膚腫瘍科

D-2-4 腫瘍減量切除後に放射線照射を行った後頸部 microcystic adnexal carcinoma の 1 例

岩澤億斗¹ (いわさわ おくと)、角総一郎^{1,2}、岡田寛文¹、神谷浩二¹、前川武雄¹、
小宮根真弓¹、大槻マミ太郎¹

¹自治医科大学、²茨城県西部メディカルセンター

D-2-5* 転移をきたしたエクリン汗孔癌に対してセツキシマブとパクリタキセル併用療法が奏効した 1 例

武藤容典 (むとう よしのり)、出口順啓、前島えり、大沼毅紘、小川陽一、三井 広、
島田眞路、川村龍吉

山梨大学 皮膚科

座長：宇原 久 (札幌医科大学 皮膚科)
藤本 学 (大阪大学 皮膚科)

LS4-1 注意しておきたい炎症性疾患に類似した皮膚リンパ腫とその治療例

清原英司 (きよはら えいじ)

大阪大学 皮膚科

LS4-2 診断、治療に難渋した皮膚 T 細胞リンパ腫症例

宮垣朝光 (みやがき ともみつ)

聖マリアンナ医科大学 皮膚科

共催：株式会社ミノファージェン製薬

座長：天野 正宏 (宮崎大学 皮膚科)
河井 一浩 (木戸病院 皮膚科)

D-3-1 ベキサロテン内服が有効だった Indolent type ATL の 1 例

中島真帆 (なかしま まほ)、竹中 基、室田浩之
長崎大学

D-3-2 表皮突起中心の表皮向性を示した慢性型 ATLL の 1 例

菊澤千秋¹ (きくざわ ちあき)、來田英伸¹、文 省太¹、池田 彩¹、小澤健太郎¹、
後藤啓介¹、柴山浩彦²
¹大阪医療センター 皮膚科、²大阪医療センター 血液内科

D-3-3 当科における再発・難治性成人 T 細胞白血病リンパ腫 (ATL) に対するツシジノスタットの使用経験

米倉健太郎 (よねくら けんたろう)、上塘葉子
今村総合病院 皮膚科

D-3-4 CD4 陽性節外性 NK/T 細胞リンパ腫、鼻型の 1 例

久本晃義¹ (ひさもと てるよし)、坊木ひかり¹、宍戸菜穂美¹、佐藤伸一¹、森田 剣²、
水野秀明²、本田 晃²、宮垣朝光³
¹東京大学 皮膚科、²東京大学 血液腫瘍内科、³聖マリアンナ医科大学 皮膚科

D-3-5 壊死性筋膜炎が疑われデブリードマンにて診断しえた節外性 NK/T 細胞リンパ腫、鼻型の 1 例

小泉 滋¹ (こいずみ しげる)、稲福和宏¹、朱 樹李¹、奥山智香子¹、細木卓明²、
野口寛子³
¹君津中央病院 皮膚科、²君津中央病院 血液内科、³君津中央病院 病理診断科

D-3-6 メトトレキサート投与中に生じた皮下脂肪織炎様 T 細胞リンパ腫の 1 例

松岡温子^{1,2} (まつおか あつこ)、川平尚生¹、馬場直子¹、指宿敦子¹、多田浩一¹、
藤井一恭¹、東 裕子¹、金蔵拓郎¹、吉満 誠²
¹鹿児島大学 皮膚科、²鹿児島大学 血液・膠原病内科

D-3-7* 多発結節として発症し、濾胞ヘルパー T 細胞の形質発現をみとめた末梢性 T 細胞リンパ腫・非特定型症例

濱田利久^{1,2} (はまだ としひさ)、喜田真里奈^{2,3}、井出 眞⁴、神野真理⁵、眞部恵子²
¹国際医療福祉大学成田病院 皮膚科、²高松赤十字病院 皮膚科、³香川大学 皮膚科、
⁴高松赤十字病院 血液内科、⁵高松赤十字病院 病理診断科

座長：米倉健太郎 (今村総合病院 皮膚科)

宮垣 朝光 (聖マリアンナ医科大学 皮膚科)

D-4-1 肉芽腫性菌状息肉症の 1 例伊藤祐太 (いとう ゆうた)、延山嘉眞、伊藤宗成、朝比奈昭彦
東京慈恵会医科大学 皮膚科**D-4-2** モガリズマブ投与により経過良好な菌状息肉症の 1 例佐藤洋平 (さとう ようへい)、大山 学
杏林大学**D-4-3** デュピルマブ投与後に扁平隆起結節が出現した IL-13 受容体 $\alpha 2$ 陽性の紅皮症型菌状息肉症の 1 例小牧玲雄 (こまき れお)、宮垣朝光、橋本実奈、大橋洋之、竹内そら、門野岳史
聖マリアンナ医科大学 皮膚科**D-4-4** デュピルマブ投与後に発症したセザリー症候群の 1 例上塘葉子¹ (かみとも ようこ)、田代幸恵²、二之宮謙次郎²、米倉健太郎¹
¹今村総合病院 皮膚科、²今村総合病院 病理診断科**D-4-5** 関節リウマチに対するバリシチニブ投与中に発症したセザリー症候群の 1 例齋藤寛大^{1,2} (さいとう かんだい)、古川瀬里¹、影山玲子¹、島内隆寿¹、伊藤泰介¹、
本田哲也¹、森木 睦³
¹浜松医科大学 皮膚科、²沼津市立病院 皮膚科、³静岡市立静岡病院 皮膚科**D-4-6** DUSP22-IRF4 再構成をみとめた primary cutaneous CD30-positive T-cell lymphoproliferative disorders の 1 例北嶋友紀¹ (きたじま ゆき)、山科菜由¹、花本眞未¹、四万谷貴子¹、寺井沙也加¹、
中丸 聖¹、楨村 馨¹、井上典仁²、竹内賢吾²、清原隆宏¹
¹関西医科大学総合医療センター 皮膚科、²がん研有明病院 病理部**D-4-7*** ベキサロテンで加療した未分化大細胞リンパ腫の 3 例大内謙太郎 (おおうち けんたろう)、天貝 諒、大熊崇生、千葉広夢、玉淵恵里佳、
古舘禎騎、神林由美、橋本 彰、藤村 卓
東北大学

座長：清水 忠道 (富山大学 皮膚科)

大西 正純 (岩手医科大学 皮膚科)

D-5-1 腓骨と脛骨に浸潤した基底細胞癌の 1 例竹本景太¹ (たけもと けいた)、鹿児島浩¹、寺田義之¹、片岡和也¹、清水忠道¹、鈴木賀代²
¹富山大学、²富山大学 整形外科

- D-5-2** Blaschko 線状に配列した多発性基底細胞癌の 1 例
伊崎聡志 (いざき さとし)、西盛信幸、田杭具視、藤田英樹
日本大学 皮膚科
- D-5-3** 基底細胞癌におけるダーモスコピー診断精度の検討—934 例からの解析—
結城明彦¹ (ゆうき あきひこ)、竹之内辰也²、高塚純子²、阿部理一郎¹
¹新潟大学 皮膚科、²県立がんセンター新潟病院 皮膚科
- D-5-4** 手掌に生じた基底細胞癌
和田 茜^{1,2} (わだ あかね)、長谷川道子¹、田村敦志¹
¹伊勢崎市民病院 皮膚科、²産業医科大学 皮膚科
- D-5-5** 当院における基底細胞癌の生検と切除標本の組織学的サブタイプの一貫性に関する検討
齋藤晋太郎 (さいとう しんたろう)、安田正人、茂木精一郎
群馬大学 皮膚科
- D-5-6*** 抗 PD-L1 抗体により縮小した基底細胞癌の 1 例
小池隆弘¹ (こいけ たかひろ)、寺村和也¹、國府 拓²、藤本徳毅²
¹淡海医療センター 皮膚科、²滋賀医科大学 皮膚科
- D-5-7** 多発肺転移をきたした基底細胞母斑症候群の一例
伊藤裕幸¹ (いとう ひろゆき)、岩田洋平¹、魚津桜子²、塚本徹哉³、杉浦一充¹
¹藤田医科大学 皮膚科、²藤田医科大学 呼吸器内科学、³藤田医科大学 病理診断学
- D-5-8** 両側の鼠径リンパ節転移をきたし精索への浸潤がみられた陰茎基底細胞癌の 1 例
吉岡和佳子¹ (よしおか わかこ)、大西正純¹、土橋りさ¹、後藤真紀¹、佐藤友利¹、
荒川伸之¹、中川倫代¹、天野博雄¹、兼平 貢²、赤坂季代美³
¹岩手医科大学 皮膚科、²岩手医科大学 泌尿器科学講座、³赤坂病院

E 会場 (4F 第 4+5 研修室)

10:00~10:50 一般演題 7 【リンフォーマ (1)】

抄録 P. 119

座長：島内 隆寿 (浜松医科大学 皮膚科)
藤井 一恭 (鹿児島大学 皮膚科)**E-1-1*** 鼻尖部偽リンパ腫として治療中に、口唇や眼瞼に結節を生じた粘膜関連リンパ組織節外性辺縁帯リンパ腫岡 莉恵¹ (おかりえ)、井上卓也¹、西 純平¹、相島慎一²、大島孝一³、永瀬浩太郎¹、杉田和成¹¹佐賀大学 皮膚科、²佐賀大学 病因病態科学診断病理学分野、³久留米大学 第二病理学教室**E-1-2** 偽リンパ腫として加療した 5 年後に原発性皮膚濾胞中心リンパ腫を生じた 1 例
竹林宏朗 (たけばやし ひろあき)、高橋玲子、福山國太郎
関西労災病院 皮膚科**E-1-3** 鼻腔原発びまん性大細胞型 B 細胞性リンパ腫の下腿浸潤と考えた 1 例花本真未¹ (はなもと まみ)、北嶋友紀¹、四十万谷貴子¹、寺井沙也加¹、槇村 馨¹、石井一慶²、朝子幹也³、吉田 謙⁴、清原隆宏¹¹関西医科大学総合医療センター 皮膚科、²関西医科大学総合医療センター 血液腫瘍内科、³関西医科大学総合医療センター 耳鼻咽喉科、⁴関西医科大学総合医療センター 放射線科**E-1-4** メトトレキサート関連リンパ増殖性疾患の 1 例橋本実奈 (はしもと みな)、宮垣朝光、中島香緒里、大橋洋之、竹内そら、門野岳史
聖マリアンナ医科大学**E-1-5*** 特異な臨床像を呈し、診断に難渋した芽球性形質細胞様樹状細胞腫瘍の 1 例中村加奈恵¹ (なかむら かなえ)、古賀文二¹、武藤礼治²、今福信一¹¹福岡大学 皮膚科、²福岡大学 病理学教室**E-1-6** 皮下硬結を呈したエルドハイム・チェスター病の皮膚浸潤と考えた 1 例紺野隆之¹ (こんの たかゆき)、岡崎尚子¹、市川 翼²、鈴木民夫¹¹山形大学 皮膚科、²山形大学 血液内科

10:55~11:40 一般演題 8 【脈管系腫瘍】

抄録 P. 121

座長：神人 正寿 (和歌山県立医科大学 皮膚科)
大塚 篤司 (近畿大学 皮膚科)**E-2-1** タキサン系抗がん剤で加療した皮膚血管肉腫の治療経験：15 例の後ろ向き解析

古館禎騎 (ふるだて さだのり)、天貝 諒、大内謙太郎、大熊崇生、千葉広夢、

玉渕恵里佳、神林由美、橋本 彰、藤村 卓

東北大学 皮膚科

E-2-2* 右頬に浮腫状浸潤性紅斑を呈したリンパ管系分化を有する Angiosarcoma の一例

佐藤あゆみ (さとう あゆみ)、田口良吉、秋元隆太、福田知雄
 埼玉医科大学総合医療センター 皮膚科

E-2-3 乳癌術後の放射線照射野に発症した血管肉腫の1例

佐藤真由¹ (さとう まゆ)、石崎莉子¹、高田満喜¹、石川真郷¹、森 龍彦¹、平岩朋子¹、
 大塚幹夫¹、山本俊幸¹、野田 勝²
¹福島県立医科大学 皮膚科、²福島県立医科大学 乳腺外科

E-2-4* 耳輪に発生した血管平滑筋腫 Angioleiomyoma の稀な1症例

早川将史 (はやかわ まさし)、古川洋志
 愛知医科大学 形成外科

E-2-5 当科で経験した血管肉腫32例の検討

菊池信之 (きくち のぶゆき)、伊藤 崇、猪狩翔平、石川真郷、森 龍彦、平岩朋子、
 本多 皓、花見由華、大塚幹夫、山本俊幸
 福島県立医科大学 皮膚科

13:30~14:15 一般演題 16【メラノーマ (7)】

抄録 P. 137

座長：横田 憲二 (名古屋大学 皮膚科)
 加藤 潤史 (札幌医科大学 皮膚科)

E-3-1 悪性黒色腫に対して、ニボルマブとイピリムマブの併用療法を行った10症例の検討

水野隼登 (みずの はやと)、菅 崇暢、松原大樹、河合幹雄、田中暁生
 広島大学 皮膚科

E-3-2 気仙沼市立病院皮膚科における過去5年間の悪性黒色腫

芳賀貴裕 (はが たかひろ)
 気仙沼市立病院 皮膚科

E-3-3 脳軟膜原発悪性黒色腫を発症した神経皮膚黒色症の1例

日浦 梓¹ (ひうら あずさ)、上原治朗¹、北野滋久²、吉野公二¹
¹がん研究会有明病院 皮膚腫瘍科、²がん研究会有明病院 先端医療開発センター

E-3-4 骨髄癌腫症を呈した悪性黒色腫の1例；本邦報告例のまとめ

神林由美¹ (かんばやし ゆみ)、天貝 諒¹、大内謙太郎¹、古舘禎騎¹、高橋隼也¹、
 橋本 彰¹、藤村 卓¹、市川 聡²
¹東北大学 皮膚科、²東北大学 血液内科

E-3-5* 摘出後に確定診断に至った髄膜黒色腫

宮崎 健 (みやざき けん)、山本有紀、岩橋吉史、神人正寿
 和歌山県立医科大学 皮膚科

座長：鶴田 大輔 (大阪公立大学 皮膚科)

永瀬浩太郎 (佐賀大学 皮膚科)

E-4-1*

膝に生じた Merkel 細胞癌の 1 例

越後岳士¹ (えちご たけし)、二又健太¹、筒井清広¹、當摩陽子²、山口礼門³、清水 晶³¹石川県立中央病院 皮膚科、²石川県立中央病院 放射線治療科、³金沢医科大学 皮膚科**E-4-2**

Avelumab 再投与が有効であったメルケル細胞癌の 1 例

後藤寛之 (ごとう ひろゆき)、吉田雄一、山元 修

鳥取大学 皮膚科

E-4-3

メルケル細胞癌における三次リンパ様構造とケモカインプロファイリング

中村元樹 (なかむら もとき)、真柄徹也、加納慎二、松原章宏、加藤裕史、森田明理

名古屋市立大学 皮膚科

E-4-4

超高齢者の足趾に生じたメルケル細胞癌の 1 例

横山華英 (よこやま かえ)、池田高治、川上民裕

東北医科薬科大学 皮膚科

E-4-5

完全自然消退したメルケル細胞癌の 2 例

上村杏奈 (かみむら あんな)、梅田善康、川原 祐、山口文太郎、寺本由紀子、

中村泰大

埼玉医科大学国際医療センター 皮膚腫瘍科・皮膚科

E-4-6*

巨大な左下眼瞼メルケル細胞癌に放射線が著効した 1 例

瀬下治孝¹ (せしも はるたか)、入澤亮吉¹、前賢一郎¹、脇本紘子¹、三上隆二²、原田和俊¹、宮崎安洋³¹東京医科大学 皮膚科、²東京医科大学 放射線科、³災害医療センター**E-4-7**根治切除不能なメルケル細胞癌患者におけるアベルマブの安全性と有効性—
日本における市販後調査の結果清原祥夫¹ (きよはら よしお)、宇原 久²、佐藤聖士³、遠藤シェーラ⁴、宋 冰冰³、佐藤由典⁵、田中悠太郎⁵、神戸 杏⁵、山崎直也⁶¹静岡県立静岡がんセンター 皮膚科、²札幌医科大学 皮膚科、³メルクバイオフーマ株式会社 研究開発本部、⁴メルクバイオフーマ株式会社 ペイシエントセーフティ、⁵メルクバイオフーマ株式会社 メディカル本部、⁶国立がん研究センター中央病院 皮膚腫瘍科**E-4-8***

姑息的放射線治療が奏効した乳頭部メルケル細胞癌の 1 例

熊谷史子¹ (くまがい ふみこ)、能登 舞¹、伊藤 拓¹、堀江咲織¹、東海林怜¹、鈴木長男²、河野通浩¹¹秋田大学 皮膚科・形成外科、²横手市 すずき皮膚科